

ガバナー月信

Vol.11

2003.5.1

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES

国際ロータリー第2840地区

2002-2003年度

ガバナー 矢野 亨

376-0011 群馬県桐生市相生町5丁目493

社会福祉法人希望の家 - のぞみの苑内

TEL 0277-55-5288 FAX 0277-55-5289

yano.gov@kibounoie.or.jp

<http://www.kibounoie.or.jp/gov>

題字 矢野 亨

和光 同産



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
会長エレクト・次期幹事	
研修セミナー報告	7
交換学生旅行報告	8
太田南RC25周年記念式典を顧みて	9
碓氷安中ロータリークラブ	
創立5周年記念式典報告	10
姉妹クラブ公式訪問及びWCS報告	11
地区大会記念事業・礼状紹介	12
2003-04年度	
全国地区大会予定表	13
新会員紹介・訃報	14
文庫通信	15
出席報告、5月の予定	16



ガバナーメッセージ



ガバナーメッセージ ロータリーの奉仕と地域福祉

2840地区

ガバナー 矢野 亨

ロータリーの奉仕と地域福祉

(其の10) 終稿

前号までに紹介したのは、明治以来、近代国家の建設を目指す一方で、余りにも放置され、遅れた日本の社会福祉の実状を説明しつつ、その中で敢然として社会福祉に飛び込んだ「留岡幸助」と「石井十次」を紹介しました。戦後の様子については、日本の社会福祉の遅れが先鋭的に現れている重症児問題にスポットを当てて、この問題に献身した3人、「小林提樹」「糸賀一雄」「草野熊吉」の三人の業

績を紹介しました。これらの人々は不思議な事に皆、クリスチャンでありましたが、日本の暗黒の社会福祉にわずかな灯火が灯されたと言えましょう。

私は戦前の日本は“**暗黒の社会福祉**”という表現を用いましたが、これは先にも述べましたように、明治維新がようやく終わった明治7年(1874年)形ばかりの貧民救済の「**恤救規制**」が、なんと昭和4年(1929年)という55年間も放置され、この規則が不完全なまま、延々として生き長らえたという国民にとっての“**社会的不幸**”を指摘したいのであります。

もちろん、その間日本の政治家が決して傍観していた訳ではありません。一例をあげれば、窮民救助法制定に努力した「鈴木万治郎」は、明治新政府が殖産興業を推進するには、労働力としての貧民救済が不可欠であると説いたのですが、彼の説は無視され一般には“貧民は無知であり、怠惰であるので公費を持って救済することは、もってのほか”という議論がまかり通っていたのです。当時の日本人為政者の感覚のなかには、社会福祉という概念が余りにも希薄であったことに、憤

題字によせて

和光同塵(老子)

正しくは、「和其光、同其塵。」

「其の光を和し、その塵に同ず。」である。

人は、光りすぎてはいけない。光ることに得意になり、自慢するようなことがあっては、いけない。人は、時にその光があるとするならば、それを和らげることが大切である。むしろ、自らを誇るようなことがあるとしても、それを抑えて世間に同化することが必要である。

りすらおぼえます。

大正6年(1917年)にはロシア革命によって、共産政権が成立します。翌年、大正7年(1918年)には、我が国においても米価の暴騰に対して富山の主婦の起こした“**米騒動**”が全国に広がりを見せ、この庶民の怒りと、そのエネルギーに、時の政府は大いに慌てました。共産思想、社会主義思想も広がりを見せます。これらの社会情勢の変化が発端となって、一般国民の生活難を個人の問題としてとらえた旧い時代は去り、社会の問題、国家の問題として捉えざるを得ないこととなるのですが、このことは我が国の社会福祉政策にとって大きな進歩となるのです。

一方、大正9年(1920年)の金融恐慌は、我が国の失業者を増大させます。「大学は出たけれど職なし」と言われた時代に突入するのです。労働争議も頻発しますが、これが対策として、政府はようやく労働者の医療保険を目的とした健康保険法公布するに至ったのです。しかし、これも実施は大正12年の関東大震災のトラブルもあって、その実施は数年遅れる事になります。

1920年代後半には、国民大衆の経済的な窮乏は、まさにその極に達し、あちこちで貧乏のための一家心中、子女の身売りが公然と行われる状態でありました。小作争議も各地で頻発し社会不安をいやがうえにも醸成することになります。

当時の日本国民6000万人として、窮民は55万人以上あったと言われますが、明治7年の「恤救規則」による救済は

せいぜい1万人前後と言われ、これでは、まさに「焼け石に水」の悲しむべき状況であったようです。

しかし、昭和4年(1929年)になって、**ようやく待望の「救貧法」**が成立し、我が国の救貧史上一つの転機を迎えることになりました。まさに、55年ぶりであり、この実施は3年後の昭和7年(1932年)から実施されることになりましたが、これによって昭和恐慌の渦中であつた要救護貧困者は、当面の飢餓から救われると共に、これによって日本の資本主義体制も不十分ながら安定の方向へ向かう兆しを見せたのであります。

しかし、この兆しすら、昭和6年頃、満州事変の先端が開かれ、太平洋戦争へと続く、いわゆる15年戦争に日本は突入します。国をあげての戦いの中で我が国の社会福祉は残念ながら、沈潜の時代を迎える事になります。

敗戦による社会福祉改革

昭和20年(1945年)の敗戦後の社会の経過については多くの方が体験しているのですが、ここで詳述するつもりはありませんが、我が国の社会福祉が一挙に陽の目を見るのは、アメリカの進駐軍の政策によってであります。「**財閥解体**」、「**農地解放**」等、思い切った改革が実施されますが、その一方で社会福祉の領域では大きな問題を抱える事になります。

それは、内地の主要都市の米軍の空襲による龐大な戦災者、浮浪児、国外からの帰国民間人、陸海軍人など、300万と言われる引揚者対策が大きな社会問題となり



ます。

昭和25年(1950)朝鮮戦争が勃発し3年続きますが、これによって我が国の経済は大きな立ち直りをみせ、やがて驚異的な経済発展へと続くこととなります。

福祉の領域でも、福祉6法が出来上がります。児童福祉法(1947)、身体障害者福祉法(1949)、生活保護法(1950)、精神薄弱者福祉法(1960)、老人福祉法(1963)、母子福祉法(1964)がそれです。

また、国の経済発展と共に、遅ればせながら、各種の社会福祉事業が推進されるようになります。

欧米における福祉国家の形

もともと、福祉国家とは社会主義国家ではなく、資本主義国家と共存すべきものであって、資本主義国家の制度上の欠点を補完するものであります。太平洋戦争が終結し、ケインズや、ベバリッジの本家本元である英国が、Keynesian Welfare State すなわちケインズ主義的福祉国家を創り、「ゆりかご、から墓場まで」のキャッチフレーズで政策を展開します。

スウェーデンも英国と並んで、福祉国家を高々と謳歌します。やがて、ヨーロッパ先進国の間に**福祉国家の黄金時代**が到来する事となります。しかし、その福祉国家も国によって多少の温度差がありました。

英国やスウェーデン等、北欧諸国は「**租税中心型**」で全住民対照型福祉国家であり、ドイツ、フランス、日本等は「**社会保**

険中心型」で職域がベースとなります。米国は「**民間保険中心型**」とも言える福祉国家体制であります。しかし、このケインズ型福祉国家も資源の際限なき消費という事がその背景にあるとするならば、この福祉国家もやがて行き詰まる事が予想されます。地球の資源は有限であり、これに環境問題が加わるならば問題は深刻となります。

このような背景のもとで、**1973年オイルショック**が襲います。これを転機として、各福祉国家では、高福祉高負担の見直しを迫られる事となります。

ベバリッジの本家の英国では、やがて各種のひずみが露呈されてまいります。例えば、N.H.S(ナショナルヘルスサービス)でも待機患者表(ウェイティングリスト)が大きな社会問題となります。これは、入院医療や手術を要する患者が、適切な治療や入院を受ける為に何ヶ月も順番待ちをしなければならないという状態が起き、その内の患者はみすみす死亡するといった痛ましい事故が多発して英国の大きな社会問題となったのです。医療国営の中で、自由競争原理の働かないこの制度は次第に硬直を起こしてきたのです。現在、英国ではウェイティングリスト解消の為、民間保険の医療制度への導入が計られ、ようやくこの医療国営の硬直した制度が改善に向かっているという報告を得ています。

ドイツ、フランスなど社会保険型の福祉国家をはじめ、西欧の福祉先進国は、1973年の石油ショックの為、軒並み経済

的打撃を受け、福祉国家の見直しを検討せざるを得ない事になります。これは福祉と経済成長の両立は事実上不可能であり、福祉を優先するか高負担をとるか、といった認識が出てきたのであります。

我が国の社会福祉の特徴

既に述べましたように、我が国の社会福祉は太平洋戦争の敗戦によって占領軍のアメリカによって大改革が行われました。

1947年、新しい日本国憲法は翻訳憲法と言われておりますけれども、その第25条に「社会権」の思想がうたわれております。これは福祉国家の理念的スタートと考えられます。ドイツは日本と同じように敗戦国であります。後の西ドイツは経済発展と同時に、戦勝国の水準を凌ぐ福祉国家を達成するのであります。しかし、日本の福祉の実状は、何故か、なかなか前進せず遅々として、その進歩は遅いのであります。国民皆保険ができた1961年を福祉前進への第一歩とするならば、憲法にうたわれる福祉国家の実現には14年かかったと言えましょう。

1973年のオイルショックは、欧米先進国は経済的に打撃を受けますが、我が国は経済危機を軽く抑えて、この年、日本の社会保障費が大幅に伸び、ようやく我が国における「福祉元年」と、うたわれる事になります。このことの示す事態は、それまでの我が国は、経済再建に懸命になり、福祉への配慮がどうしても薄かったという悲しむべき現象の結果と言えましょう。国家の予算の面を見ても、日本は予算を福祉に回す事に伝統的に消極的で

ある事が指摘されます。戦後、20年近く経って、ようやく「福祉元年」というのは欧米先進国と比べて、恥かしいほど、福祉の遅れを示すものでありましょう。

その後、1980年後半には、いざなぎ景気に浮かれるのですが、1990年に入り、バブルがはじけます。ここで、1984年の諸外国の国民所得に対する福祉予算の比率を例にあげますと、スウェーデン(30.9%)、西ドイツ(29.0%)、フランス(26.9%)、イギリス(19.3%)、日本(13.8%)であり、日本が最低の%であります。

これが示すように福祉元年が過ぎ、福祉に予算を回すようになったとはいえ、まだまだ日本の福祉は、諸外国と比べて「遅れ」が指摘されるのです。残念ながら、この「遅れ」現状が今日まで引きずっているといっても過言ではありません。まして、現在の経済不況のもとでは福祉政策への大幅な増額は望むべきもありません。

地域福祉にロータリーの奉仕は如何に関与すべきか

かつての日本は、明治以来、余りに荒廃した福祉の現状に対して、それに対応するには、莫大なエネルギーと、それを支える先覚者の情熱が必要でありました。私が月信で述べました何人かの先達、それは皆不思議と、熱心なクリスチャンでありましたが、その偉業には頭が下がります。

現在の日本はどうでしょう、日本の福祉政策は、太平洋戦争の敗戦以来、アメリカによって大いに改善されましたが、まだ



まだ欧米先進国と比べて残念ながら、「遅れ」が指摘されてはおります。しかし、国の福祉のレベルが上がったことは事実でありましょう。その客観的社会情勢の変容を受けて、我々個人が福祉へのアプローチは大変容易となりました。

すなわち、かつての様に著しい自己犠牲や、歴大なエネルギーを要せずとも、大なり小なり福祉への協力が出来、その結果として、それなりの成果が期待できる時代になっています。

欧米先進国では多くのN.P.O.があり、古くから自分の集団の為でなく、高齢者、身障者、障害児、貧しい人たちに対する支援を積極的に実施しております。国によっては素晴らしい奉仕団体のネットワークが長年の間、地域に密着して活躍しているのです。日本もN.P.O. 法案が通り、遅ればせながら、多くのN.P.O. がボランティア活動への実践をスタートしており、そのなかには見るべき成果を挙げている所もあります。

ロータリークラブは、奉仕活動の実践団体として、100年になろうとしています。決議23-34のように、結果として社会奉仕活動に背を向けた為に、ポールハリスはノーベル平和賞を取り損ねた、という下司の勘ぐりを私はしているのですが、一方で超我の奉仕という職業奉仕は、職業を通して奉仕するという哲学的ではあるが、奉仕の具体性の把握に弱いという欠点をもっています。

社会奉仕に関するRIの1992年の決議は、社会奉仕へのRIの大きな転換と考

えられます。RI会長のビチャイ・ラタクル氏は、一日バンコックの孤児を海水浴に連れてゆくという奉仕活動へ実践を体験することによって、はじめてロータリーを再認識したと述懐しております。この実践と体験が大切なのです。

私たちの周辺では、福祉の手助けを必要とすることがゴロゴロしております。例えば、ロータリー発祥の頃、シカゴで苦労しながら公衆便所を寄付して、ようやく奉仕団体として認知されたというエピソードについては、どなたも良く知っておるのですが、日本では公園に車椅子用のトイレがないのを嘆いた新聞の投書がありました。西欧先進国では公園に身障者用の車椅子用トイレは殆ど必置が常識であるのに、という投書者の老人の訴えに私は心を打たれました。又私が試しに車椅子に乗って街へ出かけた時、日本の道路が車椅子にとってバリアが余りにも多いのに驚いた事があります。老人問題一つとってみても、特養などインフラの整備は進んでいるようですが、在宅老人や在宅障害者の孤独死が新聞紙上にまだ時々載ります。日本の福祉政策は西欧先進国とくらべて、相対的な遅れが指摘されていますが、必然的に我が国の地域福祉も「遅れ」ているのです。その遅れの「隙間」を地域の奉仕団体が埋める努力をしなければなりません。ロータリークラブのこれからの大きな役目と、地域の熱い期待がそこにあることを私たちロータリアンは自覚したいものです。

「おわり」

2003～2004年度 会長エレクト・次期幹事研修セミナー報告

P E T S 実行委員長 斎藤 弘一
(渋川ロータリークラブ)



開催日 2003年3月22日(土)
～23日(日) 一泊二日

開催場所 伊香保温泉「福一」

出席者

2003～2004年度地区役員
2003～2004年度クラブ会長・幹事
RIMC 黒田正宏様(特別講演)
合計150余名

概略 RIテーマ発表

森田年度基本方針発表
森田年度地区委員会方針発表
特別講演(RIMC)
研修リーダー講話及び講評
分區別討論会及びその成果発表
ガバナーエレクト事務所からのお知らせ
(地区組織・主要行事・予算・公式訪問・
ガバナー月信等)

地区協議会のご案内
地区大会のご案内

2003～2004年度会長エレクト・
次期幹事研修セミナーは、森田ガバナー
エレクトの「地区と地区内のロータリー
クラブとの距離を縮めたい」という意向

を汲み、「親睦を計りながら、共に学ぼう」と、伊香保温泉にて一泊二日で開催致しました。

矢野ガバナーのご挨拶の後、高木研修リーダーよりロータリークラブのルール・組織などの講話を頂き、午後の部で森田ガバナーエレクトからRIテーマ、森田年度基本方針及び7つの強調事項の発表があり、それに沿ったかたちで8大委員会委員長より各委員会方針を述べて頂きました。その後アシスタントガバナーをリーダーに各分區別討論へと順調に進行し、懇親会へ。

懇親会は、浴衣姿ということもありみなさんリラックスしてご参加頂き、懇親も深められたのではないのでしょうか。

翌日、RIMCの黒田正宏様の講演、分區別討論成果発表を終え無事二日間の会議を終了致しました。皆様ご協力誠にありがとうございました。

また、現在報告書を作成中ですので完成次第配布させていただきます。



交換学生旅行報告

INBOUND 学生春の小旅行報告

青少年交換委員会委員長

天笠 博（館林ミレニアムRC）



4月5～6日、春休み最後の週末に、一年交換学生4名全員の参加をもって、東京・横浜方面への小旅行を実施いたしました。

4月5日（土）午前9時に前橋駅前に全員が時間通り集合、折からの悪天候について関越道で首都圏に向かいました。当委員会の蛭田氏がワゴン車の提供と運転を買って出てくれたおかげで、臨機応変に小回りのきく楽しい旅となりました。

初日は想像以上の風雨に見舞われ傘を差して歩く事もままならず、予定を大幅に変更、池袋のサンシャインシティ内を見学後、横浜のホテルへ直行する事となりました。山下公園のすぐそばとロケーションには大変恵まれていたのですが、風雨はますます激しくなる一方でした。それでも学生たちは連れ立って散歩に出たのは、さすがに若さです！

お楽しみの夕食はすぐ近くの中継街で・・・、小さな店構えですが味は素晴らしく、いつも小食のニックとジョシュも沢山食べていて安心しました。今回ぴか一の健康優良児であるエリックがいたお

かげもあり、料理は全てきれいにたいらげられました。さらに紅一点のケテリンも夜食用に、肉まんとおまんをテイクアウトをリクエストするなど、付き添いの我々委員も彼らの食欲にびっくりさせられました。

翌6日は打って変わっての好天に恵まれ、私たちは一路鎌倉へ、沢山の観光客であふれる中、鎌倉大仏、長谷寺等を興味深く見学し、長谷寺では学生達全員が弁天窟で、ローソクに器用に日本語で自分の名前を書き、思い思いの願い事を込め、それぞれの童子にお参りをしました。

途中、逗子にて少し遅い昼食をとり、思ったよりスムーズに高速道路を乗り継ぎ、予定通り午後5時に前橋駅前に無事到着をする事が出来ました。一日目の悪天候は残念でしたが、旅行中どこもかしこも桜が満開、彼らも幾つかの日本文化に触れられ、一年間の貴重な留学生活の中の思い出の小旅行になったのではないかと思います。

来日以来8ヶ月、ホストクラブやホストファミリー、それから学校の先生や友達に恵まれ、彼らの日本語力の上達には目を見張るものがあります。そしてなにより、彼らの明るい屈託の無い笑顔に触れると、ロータリー青少年交換プログラムの素晴らしさを、実感せずにいられません。日頃彼らのお世話をされている全ての方々に、心より感謝を申し上げ、小旅行の報告と致します。

参加者

ニコラス プラント（前橋RC）

ジョシュア ロビンソン（前橋西RC）

エリック クリューガー（渋川RC）

ケテリン ゴームリー（館林ミレニアムRC）

付き添い 天笠博 難波伸男 蛭田義徳

太田南 R C 25 周年記念式典を顧みて

太田南ロータリークラブ会長 成塚 一頼



遠来の仲間

当日の4月5日は、生憎の花冷えに加え終日の雨模様、とりわけ出足が心配された。また、イラク戦争という国際情勢不穏のため、姉妹締結しているソウル東湖 R C の参加が瀬戸際まで一番危惧されたが、登録メンバー全員が無事出席。更に、友好クラブである綾瀬 R C (神奈川県) のメンバーも予定通り全員参加という二重の幸運にも恵まれた。まさに、友遠方より来たるで、祝賀会終了後も春宵を心ゆくまで惜しみながら、25歳に達したばかりの青春を謳歌、歓をつくした。ときもよし、森羅万象は春爛漫の真っ只中だった。

記念事業

大分手前味噌になるが、市役所へからくり時計スモールワールドフォークを贈呈、豪華な品だが、1階の「市民サロン」という広い空間の高所にセットされたので目立たないのが一寸ばかり残念。従来、よく屋外で見受けられる記念時計などに比べアフターサービスを考えると、着眼点は合格である。

W C S 事業として、タイ王国ジンプリ市の公立病院に超音波診断装置一式。同市郊外過疎地区の小中学校に水道水浄化装置一式。同校に教育用コンピューター機器一式。以上がソウル東湖 R C と共同で行った事業で、今年2月6日より9日までに太田南 R C ・東湖 R C との視察団がタイ王国を訪問、つぶさに現地の利用状況確認視察も実施。

祝賀

式典の進行が余りにもスムーズに終わった時点では、祝宴の会場準備の方が時間的に危ぶまれた所、程なく修正され会場移動の案内が伝えられひと息ついた。

雨天が恵みとなったか、会場の春らしい雰囲気には浮かれたか、はたまた風変わりなアトラクションの出し物にひかれたか不明にしても座席は満目空きなし。

遠来の客でもあるソウル東湖 R C や綾瀬 R C のメンバーを心から労うための二次会では、祝賀の酔いも手伝ってまるで余韻が尾をひいたように参加人数が優に倍以上にふくれあがる始末。春宵値千金の様相であった。

以上、式典当日を顧みれば春の宴の一日は予想以上の成果を収めることが出来たと自負するが、これが25年を経た太田南 R C の真底の結集力であろう。担当の各メンバーに敬意を表する。



碓氷安中ロータリークラブ創立5周年記念式典報告

実行副委員長 雨宮 豊



2003年3月16日(日)安中市の並木苑に於きまして碓氷安中ロータリークラブ創立5周年記念式典が開催されました。

ご来賓にRI第2840地区ガバナー矢野亨様を始めRI第2560地区吉田昭平様、第3分区AG小林弘様、創立時特別代表(安中RC)長戸正養様、安中市長中島博範様、群馬県議会議員岡田義弘様、同じく岩井均様、安中碓氷ユネスコ協会会長矢野薫様、安中碓氷ライオンズクラブ会長田中正明様、安中青年会議所理事長吉田尚弘様をお迎えしました。

田島会長の点鐘で始まり、ロータリーソング、ご来賓の皆様のご温かい御祝辞と順調に進み、緊張の中での5周年記念式典も厳粛のうちに無事終わることが出来ました。休憩の後マンドリンの演奏でお客様をお迎えし祝宴に入りました。会場内はテーブルといすが用意されていて、全員座ってゆったりと落ち着いて祝宴を楽しむことが出来ました。そのせいでしょうか、途中退場する人もなく最後まで和やかな内に幕を閉じることが出来ました。

チャーターナイト以来の大イベントで、

久しぶりに全員が一丸となって取り組みました。記念植樹、チャリティーゴルフ、記念式典、記念誌と4つの部門に分かれ、それぞれ担当を決め、その担当者の下で会員が動きました。私は記念誌担当だったので、企画、構成を手がけました。大筋はすぐに出来たのですが、案内状の作成・発送が遅れてしまったため、祝辞の原稿依頼や来賓者の出欠の確認がなかなか取れずに気持ちばかりが焦りました。次の10周年にはこういう所を頭に入れて早めに準備に入らなければと思いました。

5周年というと人間で言えば幼稚園児みたいなものです。先生(ガバナー)の言うことが少し理解出来るようになり、歌(ロータリーソング)とお遊戯(奉仕活動)とお絵かき(例会)がやっと出来るようになったかな?という位の所にいる感じですか。お昼寝(夜間例会)は上手に出来るが、お遊戯(奉仕活動)は苦手です。

これからは10周年に向かって頑張っていこうと思います。人間で言えば小学生位でしょうか。国語(職業奉仕)、算数(ロータリー財団・米山奨学)、理科(新世代奉仕)、社会(社会奉仕)を勉強していこうと思います。最近是不況の波に飲み込まれ会員数の減少に悩んでいます。これを乗り切るには体育(会員増強)をしっかりとて体力を付けるのが一番だと思います。まだまだひ弱な我がクラブですが、皆様の温かいご支援と御友情で見守っていただければ幸いです。

ご来訪下さいました皆様に感謝申し上げます。締めくくりとさせていただきます。

姉妹クラブ公式訪問及びWCS 報告 フィリピン、姉妹クラブ、バリントワクRC 公式訪問

伊勢崎中央RC 大和 仁



3月1日から5日まで20年前に締結した、フィリピンの姉妹クラブ、バリントワクRCを公式訪問しました。加久AGを伴い、8名で参加しましたが例会日を変更してくれて、全メンバーで歓迎してくれました。今回はバリントワクRCの子供クラブにあたる、ノース、バリントワクRCの進めているWCS小規模事業、大学生のための奨学資金に賛同し、協力の確認と友好親善を深めることを目的に、訪問しました。

バリントワクRCとは1997年お互いにガバナーを輩出し、ガバナー就任式とDISCON(地区大会)は久保田ガバナー代理、吉田パストガバナー(村上RC)と館林RC、高崎RC、伊勢崎東RC、のメンバーと

当クラブが参加しました。久保田ガバナー主催の地区大会にはバリントワクRCのガバナーギル、デビナグラシャス氏が多数のメンバーで参加してくれました。

そして、4日の最終日は、伊勢崎中央RC、の主催するディナーパーティーとしてバリントワクRC、ノース、バリントワクRC、メンバー40名が参加してくれて盛大に開催され、友好の輪が幾つも花開きました。フィリピンに又、友人が沢山でき、次の日は空港まで送っていただき帰国の途につきました。



地区大会記念事業・礼状紹介



東京福祉大学教授
ヘネシー澄子

今日は昨年群馬県の地区
大会から発展した事をお知
らせして、お礼を申し上げ

たいと思います。

先ずチェアスキーですが、いただいた

バイスキー（ 1 ）
を小さな子どもも乗
れるように、学生が
工夫しまして、2月
のはじめに斑尾高原
スキー場でアメリカ
から障害者スキーで
知られているハル・
オリアリー氏を招い
て研修し、2月22日
の希望の家のスキー



に参加させていただきました。車椅子の
お子さんが4人いらして、もう一台バイ
スキーを横浜のラポールから借りていた
だき、二人午前中、残りの二人を午後バ
イスキーに乗せました。また他の学
生は、一人一人介助をして、いままで研
修してきた事が実行でき、とても有意義
な一日でした。有難う御座いました。ま
た来年も参加させてくださいませ。三好
さんもずっと交流を続けたいとおっ
しゃって下さいました。

地区大会でパネルジーさん（ 2 ）と
お知りあいになった直後、3人の女子学
生が2003年の3月に、インドのカル
カタにある、マザー・テレサの7つの
施設で実習をしたいと言ひ出し、パネル
ジーさんを通して、カルカタロータ

リークラブの会長さんを紹介していただ
きました。そのクラブで3人を一ヶ月預
かるホストファミリーを国際小委員会が
中心になって探してくださり、3人は、2
月26日に日本をたち、4月2日無事にた
くさんの経験をお土産に帰国しました。

矢野ガバナーがパネルジーさんに引き
合わせてくださらなかったら、実現して
いない事でした。本当に感謝しても仕切

れません。戦争が勃発
したり、新ウイルスに
よる肺炎などで、心配
しましたが、ロータ
リーの人たちに守られ
て、元気で楽しく毎日
をボランティア活動と
ロータリーのホスト
ファミリーが提供して
くださるプログラムに

費やしたようです。明後日3人とも登校
してくるので、彼女たちの経験話をきく
のが楽しみです。

1 昨年10月桐生での2840地区大会の折、記
念事業として障害者用スキーを東京福祉大学に贈呈し
たもの。

2 RI会長代理としてインドから来桐された方。

地区大会記念事業・感謝状



昨年の地区大会で記念事業として公園の
ベンチを寄贈した御礼として感謝状をい
ただきました（3月3日）

2003 - 04年度 全国地区大会予定表

2003年3月20日現在

地 区	ホストクラブ	月 日	場 所
ゾーン1			
第2500地区	旭川	10.4～5	旭川大雪アリーナ
第2510地区	千歳	10.24～25	千歳市民文化センターほか
第2520地区	岩沼	4.17～18	宮城県岩沼市民会館 ビッグアリーナ
第2530地区	郡山南	10.25～26	郡山ユラックス熱海
第2540地区	本荘	10.18～19	本庄文化会館
第2550地区	佐野	4.10～11	佐野市文化会館
第2560地区	長岡東	11.1～2	朱鷺メッセ
第2790地区	千葉中央	11.8～9	幕張プリンスホテル
第2800地区	天童東	10.24～25	天童市市民文化会館
第2820地区	日立	4.3～4	日立シビックセンター
第2830地区	五所川原中央	10.11～12	ふるさと交流圏民センター「オルテンシア」
第2840地区	渋川	10.18～19	渋川市民会館
ゾーン2			
第2570地区	坂戸	未定	未定
第2580地区	東京清瀬	12.3～4	ホテルニューオータニ
第2590地区	川崎南	4.23～24	パシフィコ横浜会議センター
第2600地区	大町	10.18～19	大町市文化会館
第2610地区	金沢東	4.10～11	石川県立音楽堂
第2620地区	甲府西	11.8～9	アピオウェディングプラザ甲府
第2750地区	東京立川	2.26～27	新高輪プリンスホテル
第2770地区	川口モーニング	11.22～23	川口総合文化センターリリア
第2780地区	鎌倉西	9.27～28	鎌倉芸術館
ゾーン3			
第2630地区	四日市	11.8～10	四日市文化会館
第2640地区	和歌山南	11.8～9	和歌山県民文化会館ほか
第2650地区	宇治、 京都城陽、 京都八幡、 京都山城、 宇治鳳凰、 京都田辺RC 共同ホスト	11.15～16	同志社大学京田辺キャンパスほか
第2660地区	大阪東	11.14～15	帝国ホテル大阪・NHK大阪ホール
第2680地区	篠山	2.7～8	神戸ポートピアホテル
第2690地区	津山	10.17～18	津山文化センター・津山鶴山ホテルほか
第2760地区	尾西	11.8～9	ウェスティンナゴヤキャッスル
ゾーン4			
第2670地区	徳島南	3.6～7	アスティとくしま
第2700地区	福岡西	4.24～25	福岡国際会議場
第2710地区	山口南	10.4～5	ホテルニュータナカ・山口市民会館
第2720地区	熊本	11.15～16	熊本市民会館
第2730地区	都城中央	10.18～19	都城市民会館・ホテル中山荘
第2740地区	佐世保	11.25～26	アルカスSASEBO



新 会 員 紹 介



伊勢崎ロータリークラブ
入会日：2003年3月19日
職業分類：通信機器販売
勤務先：(株)ワーク
役職：専務取締役
推薦者：相沢英男

飯島 貴広



伊勢崎中央ロータリークラブ
入会年月日：2003年3月1日
職業分類：建築塗装業
勤務先：(有)カネコ建築塗装
役職：代表取締役
推薦者：箱田 貴・森村 稔

金子 克次



伊勢崎中央ロータリークラブ
入会年月日：2003年3月13日
職業分類：業務用食品卸業
勤務先：(株)オザワ産商
役職：代表取締役
推薦者：山崎 泰男

小澤 武雄



伊勢崎中央ロータリークラブ
入会年月日：2003年3月1日
職業分類：石油製品販売業
勤務先：(有)嶋田石油
役職：取締役
推薦者：稲田和昭・小野岳彦

嶋田 高之



伊勢崎中央ロータリークラブ
入会年月日：2003年3月13日
職業分類：鮮魚商
勤務先：(株)博商
役職：代表取締役社長
推薦者：山崎 泰男

木津 一彦



桐生赤城ロータリークラブ
入会日：2003年4月1日
職業分類：特別養護老人ホーム
勤務先：のぞみの苑
役職：施設長
推薦者：町田裕一

園田 功



桐生赤城ロータリークラブ
入会日：2003年4月1日
職業分類：給排水設備
勤務先：(有)タナベ工業所
役職：代表取締役
推薦者：園田徳司

田辺 裕幸



桐生中央ロータリークラブ
入会日：2003年4月10日
職業分類：石材販売
勤務先：水澤石材(株)
役職：代表取締役
推薦者：周藤 寛

水澤 亨司

謹んでご冥福をお祈りいたします



池上 宗洋殿

藤岡ロータリークラブ
2003年3月28日逝去
(61歳)
事業所：池上眼科医院 院長
ロータリー歴：
1991年4月4日入会
ポール・ハリス・フェロー
米山ファンドフェロー

..... 文 庫 通 信 (1 8 7 号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブの事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーを理解するために

「わがロータリーへの道（抄録増補版）」 ポール・ハリス著：

鈴木徹・竹山涼一・若佐武司共訳 札幌南RC 1996 126p

[申込先：札幌南RC FAX(011)222-2744]

「奉仕理念の提唱者 アーサー・フレデリック・シェルドン」 田中毅 2002 85p

[申込先：芦屋川RC FAX(0797)32-6888]

「英知と名言（抄訳）」 泰野RC 1998 55p

[申込先：ロータリー文庫（コピー）]

「これからのロータリー活動」 斉藤博 2003 7p（横浜南RC卓話）

[申込先：ロータリー文庫（コピー）]

「ロータリーへのご案内」 長岡成郎 2001 43p

[申込先：長岡成郎 FAX(0480)33-4728]

「純ちゃんのコーナー（ロータリー3分間情報）」 深川純一 伊丹RC 2002 28p

[申込先：伊丹RC FAX(072)775-1223]

「ロータリー・チャンネル」 長崎南RC 1992 44p

[申込先：ロータリー文庫（コピー）]

「新会員のためのロータリー用語」 小林茂 鷹巣RC 2002 45p

[申込先：小林茂 FAX(0185)54-2324]

「小さなクラブの会長時間『点鐘』」 福山丸之内RC 2002 81p

[申込先：福山丸之内RC TEL(084)927-5252]

「藍壺先生と言う人 米山梅吉物語」 内藤茂雄 米山梅吉記念館 2002 40p

[申込先：米山梅吉記念館 FAX(055)989-5101]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL.(03)3433-6456 FAX.(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

第 2 8 4 0 地区 2 0 0 3 年 3 月 出 席 報 告

クラブ数	会員数				
	3月初	3月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
47	2,367	2,356	-11	57	85.86

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			月初	月末	増減	女性		
第1分地区	前橋	4	93.80	101	97	-4	1	
	前橋西	3	97.10	69	69	0	0	
	前橋東	3	91.36	71	71	0	0	
	前橋北	4	90.69	62	62	0	3	
	前橋南	4	83.75	40	40	0	0	
	前橋中央	4	88.51	39	39	0	5	
	合計(6クラブ)		90.87	382	378	-4	9	
第2分地区	桐生	5	88.26	69	67	-2	0	
	伊勢崎	4	88.15	73	74	1	0	
	桐生南	4	79.89	53	53	0	2	
	群馬境	3	91.62	49	47	-2	3	
	桐生西	3	92.80	65	65	0	0	
	伊勢崎中央	4	85.73	59	63	4	0	
	伊勢崎南	3	80.95	42	42	0	1	
	桐生中央	4	74.28	38	38	0	5	
	伊勢崎東	5	81.08	38	37	-1	1	
	桐生赤城	4	84.76	43	42	-1	2	
合計(10クラブ)		84.75	529	528	-1	14		
第3分地区	高崎	4	73.55	74	73	-1	0	
	高崎南	4	93.30	73	72	-1	3	
	富岡	4	98.14	58	58	0	3	
	藤岡	4	96.43	59	58	-1	2	
	安中	4	85.00	36	35	-1	0	
	高崎北	4	81.73	63	62	-1	0	
	藤岡北	4	88.33	20	20	0	1	
	高崎東	4	87.28	61	61	0	0	
	合計(9クラブ)							
第4分地区	富岡中央	4	86.91	44	44	0	1	
	高崎シンフォニー	3	78.01	52	52	0	3	
	碓氷安中	5	86.00	30	30	0	3	
	高崎セントラル	4	75.60	43	43	0	0	
	藤岡南	3	94.62	37	37	0	4	
	富岡かぶら	4	80.55	33	33	0	1	
	合計(14クラブ)		86.10	683	678	-5	21	
	第5分地区	太田	4	82.75	98	96	-2	0
		館林	3	90.13	58	59	1	0
		大泉	4	81.73	55	56	1	2
		太田西	4	84.17	39	40	1	1
		太田南	4	85.20	54	54	0	0
		館林西	4	81.90	30	29	-1	0
		新田	4	90.38	34	34	0	0
館林東		4	81.67	32	32	0	1	
太田中央		3	82.35	34	34	0	2	
館林ミリアム		4	77.00	32	32	0	0	
合計(10クラブ)		83.73	466	466	0	6		
第6分地区	渋川	4	95.31	74	74	0	2	
	沼田	4	82.62	59	59	0	0	
	草津	4	85.05	29	29	0	2	
	水上	4	78.12	8	7	-1	0	
	中之条	4	88.00	28	28	0	1	
	沼田中央	4	88.89	64	64	0	0	
	渋川みどり	4	82.14	45	45	0	2	
合計(7クラブ)		85.73	307	306	-1	7		

5月の行事予定

- 5月 5日 第2回青少年交換派遣学生
オリエンテーション
- 5月10日 新田RC 20周年
- 5月11日 富岡RC 40周年
- 5月11日 ロータリーの森植樹
- 5月17～18日 RID 2670 地区大会
- 5月18日 地区協議会
- 5月24日 新旧AG 8大委員会引継ぎ
- 5月25日 新規米山オリエンテーション
- 5月25日 女性委員会セミナー

5月のロータリー・レートは
1ドル 122円です

ホームページのご案内

矢野ガバナー事務所(RID2840 ホームページ)
<http://www.kibounoie.or.jp/gov>
 Rotary Japan Web: <http://www.rotary.or.jp/>
 Rotary International: <http://www.rotary.org/>